

まち歩きマップ6

猪名川さんぽ道 彫刻の道・いな!!さくら通り

ルートガイド

<p>⑤ 日生中央駅</p>  	<p>彫刻の道</p>  <p>1370m 20分</p>	<p>① 善福寺</p>  <p>1120m 16分</p>	<p>② 静思館</p>  <p>150m 3分</p> 	<p>③ 上野素盞鳴神社</p>  <p>3300m 47分</p>	<p>いな!!さくら通り</p> 	<p>⑥ 日生中央駅</p> 	<p>コース周遊 6.0km 2時間30分</p>
--	--	---	---	--	--	--	-----------------------------------



彫刻の道・い〜な!!さくら通り コースの見どころ

⑤⑥日生中央駅

能勢電鉄日生中央駅は、昭和53年（1978）に開業した猪名川町唯一の電車の駅であり、本町の玄関口として親しまれています。駅周辺地域の松尾台・伏見台・川西市美山台・川西市丸山台は、阪急日生ニュータウンとして昭和45年頃から開発されてきました。また、駅名とニュータウンの名前は開発事業者である日本生命保険相互会社の略「日生」から由来しています。

彫刻の道

170余りの彫刻で飾られた「彫刻の道」は、住民がいつまでも愛着と誇りを持って暮らすことができるようにと、石彫作家の鈴木政夫さんによって造られた作品です。彫刻のテーマは『愛』で、1基1基に特徴があり見る人の心にやすらぎを与えてくれます。毎年冬には、「彫刻の道マラソン」が開催され、全国から参加される方も増えてきました。



①原・善福寺

本堂にかかる山号の扁額へんがくの文字は、多田銀銅山ごんじょうせきでとれた紺青石（藍銅鉱）で描かれています。ここは元禄6年（1693）から「多田庄三十三所巡礼」の札所であり、観音霊場として信仰を集めています。



②静思館 **いながわ名所八景** Tel.072-766-0013 休館日：月曜日 ※祝日の場合は翌日休館

昭和7年（1932）から3年の歳月をかけて建てられた茅葺き・檜造りの和風建築。この静思館は、猪名川町で最も大きい民家の一つとされている「旧富田家住宅」を町に譲り受け、文化向上に役立っているものです。明治5年（1872）上野村（猪名川町上野）で生まれた富田熊作氏は、世界的美術商の山中商会のロンドン支店長として31歳～50歳まで過ごしました。大正11年（1922）に帰国し、その後は京都で古美術商を営みつつ、海外で培った知識を活かしながら、水洗トイレや床下暖房を取り入れたこの数奇屋住宅を建築しました。昭和62年（1987）に「ひょうご住宅百選」に選ばれており、平成16年には国の登録有形文化財に指定されました。毎年4月初旬には「静思館おひなまつり」が開催され、明治時代から現在までのさまざまな年代の雛人形をはじめ、創作雛飾りや段飾りの雛人形など、大小あわせて約700点が展示され、訪れる人々を魅了します。



③上野・素盞鳴神社

境内の石段に全国でも珍しい鉄製の大型狛犬2基が置かれていて、それぞれに手毬と子犬を足元に抱えています。日本の狛犬のように阿吽の形ではなく両方とも口を開けている形になっている唐獅子と呼ばれるものです。

町道 原広根線・「い〜な!!さくら通り」 **いながわ名所八景**

町道 原広根線の約2.3kmの区間には、道路の両側に約450本、原川の松尾台側の土手に150本、合計600本ものソメイヨシノが植えられています。猪名川町の桜の名所として、多くの方が訪れるようになりました。そんな桜の名所を町内外に向けてPRするため2012年に初めて「いながわ桜まつり」が開催されました。原川沿いには「桜遊歩道」も整備されています。

2014年には、町道原広根線の一部を歩行者専用道路として、大々的にイベントが開催され、その中でイベントを実施した区間は「い〜な!!さくら通り」と命名されました。4月上旬の桜開花時には、提灯によるライトアップが行われ、幻想的な雰囲気の中、夜桜見物を楽しみながらお散歩を楽しむことができます。

